

デジタル田園都市国家構想交付金事業（R6）に係る委員意見まとめ

No.	御意見
①Society5.0社会を見据えた未来技術活用推進事業	
1	県政としてDXを推進されており、その成果のさらなる県内への展開を期待したい。第一次産業で高齢化&人手不足が著しいことからDXの推進を計られているのは好ましいことであるが、デジタルコーディネイターを活用した、県内で経済規模の大きなものづくり産業へ支援の推進も期待をしたい。
2	どの事業も重要だと思う。特に6. えひめ未来マイスター育成事業は、県内就職者割合を増加させる手段になっていると思う。
②えひめのものづくり「次のスゴ技・すごモノ」開発推進事業	
1	豊かな森林や紙産業を抱える愛媛県において、事業拡大が期待できるCNF関連への支援を継続的に実施していただきたい。さらに、県内で経済規模の大きなものづくり産業へ、多様な分野への支援も合わせて期待をしたい。
2	事項1. 外国人材受入推進事業費では、優秀な外国人材が県内に魅力を感じ、学び成長し、県内企業に定着できるような一連の仕組みの構築がなされるとよい。
3	4. えひめAI・IoT推進コンソーシアム運営事業費では、AI、IoT、DXの意識啓発から一歩進めて、自社の経営全体の中でどのように活かすか構想でき、具体的に着手点はどこにすればよいか判断できるようにされたい。できれば、経営者と担当者のセットでの参加が望ましい。
③食べてみとん愛顔になるけん！ニューノーマルに対応した愛媛の農林水産物のブランド化・販売促進事業	
1	5. 6次産業化による農林漁業者の商品PRマルシェの取組支援は続けていただきたい
2	7. 地産地消促進は重要だと思う。地域の人達にたくさんの地元産を見て食べて使ってもらう活動を実施していただきたい。
3	7. 地産地消促進事業費について、記憶への残りやすいPRが重要。例えばダンスを取り入れた作付けなどをSNS上で公開してはどうか。
④愛媛発の暮らし方改革提案と新たなコミュニティ形成による若者世代呼び戻しプロジェクト	
1	20代&30代の県外移住者が目標値を上回る人数で推移しており、政策の成果がでているものと考えられる。さらに、この年代層の移住を増やすために、移住を決めた理由など調査を行い今後の政策に反映されることを期待したい。
2	きめ細やかな政策によって若年世代の移住が多く実現している点を高く評価したい。えひめ地域活力創造センターとも連携して、現状・課題の分析（特に、移住者がなぜ愛媛を選んだのか、世の中の移住希望者は何を求めているのか）をしっかりと行った上で、更なる有効な施策に繋がれると良いと思う。
3	若者世代の引き留め、呼び戻しに際しては、やりがい、成長実感など仕事面での充実が不可欠である。そのためには、企業や産業側の魅力やその創出へ向けた取り組みをより高め、発信する必要がある。
⑤デジタル人材の教育・育成・誘致と産業のDXによる本県産業の稼ぐ力強化プロジェクト	
1	引き続き、大学等との連携を強化し、デジタル人材の育成と、情報系学生の定員増時期に合わせた県内企業への就職マッチングの仕組み作りにも期待をしたい。
⑥とべもりを核とした関係人口創出とSDGs体験事業	
1	本事業で開発したSDGsプログラムの利用者数が大きく目標を下回っており、原因の解明が急務である。県内自治体にあったSDGs推進協議議会が解散するなど、以前のようなSDGsに対する関心も急速に薄れているように思われるが、県の活性化や持続的発展には必要不可欠であるSDGs活動を活性化させることを期待したい。
2	アプリもSDGs事業はおろか「とべもり」という言葉にも接する機会がなかった。周知の仕方に工夫が必要。

デジタル田園都市国家構想交付金事業（R6）に係る委員意見まとめ

No.	御意見
⑦若年者の就職・結婚等ライフデザインの希望を叶えるための企業行動変容支援プロジェクト	
1	引き続き、県外大手企業の採用活動が旺盛で、女性にも波及しており、新卒女性の県内企業への内定者の減は致し方ない所ではあるが、女性目線での県内企業の更なる魅力化に資する事業に期待したい。
2	1 人口減少対策意識啓発事業について、「えひめの若者ライフプラン形成支援セミナー」は、参加者側から見ると単発の体験になるが、キャリア形成は続くもので、状況により変化するものであるため、継続した学びやキャリアの振り返り、見直しの機会提供として有効。 加えて、各企業を窓口として参加している若者が継続してその機会を得るために、継続学習を実施する企業への支援（プログラム提案、講師派遣、実施費用等）を行うとともに、個人で参加している若者に対しては、継続したキャリア支援を無料で行っているジョブカフェ愛媛workを紹介するなど、愛媛で安心して働き生きていくための継続的なサポートにつなげることで、愛媛県が若者の人生、キャリア形成を大切に、サポートする県だということ、県内外の若者にアピールすることが重要。
3	2 ひめボス宣言事業所魅力化支援事業について、「ひめボス宣言事業所」となることが目標にならないようなスキームが必要。今は、事業所を増やすこと、より質の高い事業所を増やすことを若者に知らせることに注力している印象である。それらはとても大切であるが、その上で、取得した企業が、情報交換をし、共に成長するような環境、しくみがつくれたら、愛媛全体として求職者へのアピール力が高まるように思う。
4	人口減少対策として、極めて重要な施策。「若者が就職したいと思える企業」、「女性が働き続けられると思える企業」を増やすことが不可欠。そもそも関心が薄い企業・経営者に向けて、如何に「自分事」「経営課題」と認識してもらうのか（例：セミナー参加や行動変容の促進）という視点も入れて、政策の実施を進めてほしい。
5	全ての労働者が働きやすく、働きがいのある環境になることが望ましく、就業継続できる職場環境づくりが進んでほしい。
6	3. ひめボス宣言事業所魅力化支援事業は、「企業力全般」の向上まで視野に入るようにする方が望ましいと感じる。企業力全般が向上し、結果として、働きやすさや働きがいの創出に繋がることを望まれる。そのような段階への事業発展が望まれる。
⑧「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材の育成によるデジタルトランスフォーメーション加速化事業	
1	6. 地域産業リスクリテラシー推進支援事業費に関して、失われた30年を経て、経営が大きな転換点を超えた今、経営者層対象の「経営」のリスクリテラシーが必要であると思料する。
⑨プロフェッショナル人材還流事業	
1	目標値を上回る成果を得られており、今後、様々な専門性を持ったシニア層が大量退職を迎えることもあり、優秀な人材の県内獲得へ向け、より一層の事業の発展を期待したい。
⑩愛媛の求人・移住総合情報サイト「あのこの愛媛」を活用した雇用・移住マッチング促進事業、愛媛グローバルビジネス創出支援事業	
1	資料から適切に進められたことが窺える。
⑪スタートアップ・エコシステムの確立による稼げるスタートアップ創出プロジェクト	
1	県内にも様々なスタートアップ事業があるように思われる、それらとの連携による効率の良い効果的な支援体制の構築、特に大学の連携が期待される。
2	EGF コンソーシアムの設立および内閣府から第2期の拠点都市に選定されたことは、大きな前進。支援機関相互の連携と具体的な議論を深め、より効果的な政策に繋げることを期待している。
3	資料から適切に進められたことが窺える。
⑫デジタルを活用し愛媛県出身若年者との繋がり構築やコミュニティ創出による愛媛ファン獲得プロジェクト『ふるさと4.0』	
1	資料から適切に進められたことが窺える。